

## 11月例会開催 コロナ時代での新たなコミュニケーション術



11月16日、米子市観光センターにて地域の宝委員会担当による11月例会が開催された。冒頭の高塚会長の挨拶では、鳥取県のコロナ注意報が発令されている中、10月例会に引き続き11月例会も通常開催が出来たことの喜びを述べられた。そして先日行われたプロ野球ドラフト会議で中海圏域から3名の高校生が育成枠で指名された事に触れら

れた。その内の一人、会長の教え子である山本選手は小学校の卒業式で将来はプロ野球選手になると大勢の前で発表し、夢を目標に変え、そして実現させたこと。青年経済人である我々は、社員や部下がしっかりとした目標を持ってもらうことを促すことが重要であると述べられた。

続いて今月の委員長タイムは、政治行政委員会の仲佐委員長が『自分の人生とゲーム』について発表された。自身とゲームの関わりから、ゲームをすることによるメリットやデメリットを分かりやすく説明し、最後は鳥取県から世界に通用するプロゲーマーを育成する事業を行いたいと夢を語られた。



本例会ではスポーツ実況やコミュニケーションを中心とした研修が行われているKototakeの代表 能政夕介氏をお招きし、Zoomによるリモート講演を行った。「コロナ時代での新たなコミュニケーション術」と題し、「自己理解」と「他者理解」この2つを客観的に見て共に学ぶことで、単純に伝えるのではなく、相手に伝わるコミュニケーション方法を学んだ。

コロナ禍によりコミュニケーションの方法は大きく変わり、オンラ



インやウェブ等のコミュニケーションの選択肢が増えている今、大事なことは何なのかを考えた。いいコミュニケーションとは自分自身や自分の伝えたい事をどれだけ理解しているのか(自己理解)、他者の事を知り自分の伝えたい

事が他者にどれだけ伝わっているのか(他者理解)が重要と説明され、グループワークで自己紹介等を行い実践した。そして自己理解を深める手法についても説明された。

自分を理解する事が大切なのは当たり前のように思われるが、改めて考えると実はなかなか出来てなく、各会員がコミュニケーションの前提として自分自身を客観的に見つめることが出来た有意義な例会となった。



(記事: 下村)

### 11月例会を終えて

中西 悠介 (株) LABO 工務部 次長



11月に入って、鳥取県内で新型コロナウイルス感染症の為注意報が発令され、通常開催が出来るのかと不安を感じていましたが、通常どおり11月例会を開催する事ができ、率直な気持ち、ホッとしています。

本例会では「コロナ時代での新たなコミュニケーション術」について、フリーアナウンサーとしても活躍されておられるKotokake～コトバで繋ぐ心の架け橋～代表 能政 夕介氏に、Zoomによるリモート出演によりご講演いただきました。リアルでもオンラインでも共通する大切なコミュニケーションの在り方、リアル・オンラインの双方で活用できるコミュニケーションの在り方などをグループワークで行いましたが、能政先生のお話に相槌を打ったり、メモを取ったりする会員も多く、学びのあった例会になったのではないかと思います。

この度の11月例会を大きな問題もなく無事に終える事が出来たのも、委員会メンバーの皆様から様々な意見をいただき、早い段階からの準備等、ご協力いただいたおかげです。委員会メンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

# 第46期ハンサム連載『会社の「当たり前」をやめた!』



## 『会社の「当たり前」をやめた!』Vol.4

大事なものは人材!そして、こだわりを持ち『なぜ?』と考えることから。

## かばはうすホールディングス株式会社

第三編集部 谷村祐也(リーダー)、松井淳一、河津孝彦、狩野智邦、伊澤佑矢、石井道治

山陰で最も有名な飲食店の一つである、かばはうすホールディングス株式会社の松田幸紀社長に、コロナ禍での対応、新規事業についてお話をお伺いしました。



代表取締役 松田 幸紀氏

「一コロナ禍における自粛の中で、スタッフへの対応はどうされましたか。」

4月初旬から毎日コロナ会議というものをし、日毎に変わっていくコロナの状況を踏まえ毎週金曜日に方針を全社員に発信していた。会社としてできるだけのことをしていくしかないと思った。夏の賞与はなしにしたがゼロってわけにはいかないんで賞与ではなく、かば独自の給付金を行った。会社が潰れてもダメ、人がいなくなってもダメ、というところからスタッフに対して独自の補償を行った。

わっていきいたい。今は香美鶏メニューを出しているが、その香美鶏の工場見学に行ったときに、食のこだわりを感じることができ、この鶏を使っていきたいと思った。

「これからコロナとの共存が言われておりますが、今後の取り組みたい新規事業などございますか。」

10年前くらいから単一居酒屋は強い、総合居酒屋は弱いと言われていたが、かばとしての居酒屋は総合居酒屋のままさらに尖った総合居酒屋を維持していくことが進む道だと思っている。昔はお客様に喜んでもらう為に原価率を考えていなかったが、店舗数が増えていくと原価率とか利益がという話ばかりになり、スケールが小さくなっていくのが反省点。僕らは企業になりすぎた。今、店舗縮小ということで実力のある店長やスタッフが戻ってきているので、店舗数が減ったことをチャンスとしてもう一度お客様が喜んでもらえるように、3月1日をもって新生かばとして10年15年前のかばを復活させようとして取り組んでいる。香川の居酒屋「浜街道」さんを目標に掲げ、新生かばを作り上げる為に行動している。安来店の改装と、かばとしゃぶしゃぶというファミリー層をイメージした業態を展開している。また、うなぎ専門店、うなぎでお酒を飲めるようなお店を山陰で4店舗展開する計画。来年3月6日には安来に無添加小麦を使った子どもでも安心して食べられるパン屋をオープンする予定。その後は米子・鳥取・松江・出雲と展開を計画している。

「一店舗を拡大して成長してきた中で苦渋の決断で店舗を縮小し、会社を見直す事で見えてきたものとは何でしょうか。」

この商売をして25年、初めて縮小しないといけないうのを経験した。結果的に7店舗閉店した。縮小の判断も苦しいものがあったが、縮小することで山陰から関東などに行ったスタッフに戻るチャンスがある。実力を持ったスタッフが戻ってくるので、店舗数は減少するけどもその分、力強く・層の厚いチェーン店を作れると思った。もう一度「炉端かばグループに係る全ての仲間を、私たちの笑顔と元気で楽しく、幸せにする」の企業理念から、お客様を元気に楽しくしながら地域の方に必要とされる店作りを考えていきたい。



「一居酒屋の当たり前であった定番の焼き鳥をやめた経緯をお願いします。」

まずは烏龍茶の話から。実はかばには5年程前から烏龍茶を置いていない。20数年前、皆さんが居酒屋に行くようになってから居酒屋には烏龍茶があった。なぜ烏龍茶なのか。それを最初に疑問に思ったまま飲食店を続けていた。烏龍茶の歴史を辿り、山陰を推していくなら中国の烏龍茶は違うと思った。確かに烏龍茶があるのが当たり前だったが、多少強引に烏龍茶を廃止した。それと同じように焼き鳥も全て山陰の鶏で出せないと感じ、3年前に焼き鳥を見直していこうと思い廃止にした。山陰の鶏でおいしい焼き鳥が出せるような環境が整ったら復活しようと思っている。総合居酒屋としてのこだわりがあるし、「炉端かば」としてそこはこ

「一取材のまとめ」

コロナ禍で店舗縮小を余儀なくされてもそこに人材という光を見出し、炉端かばとして「こだわるところはこだわる」信念を併せ持ち、会社の強み・財産でもある人材と共にお客様のためのお店を追求していく姿勢が今後の事業展開を発展させることを創り出した。

全ては「働く仲間、お客様、地元のために」との熱い思いを持った企業であると感じた。



### インタビューを終えて

会社の当たり前とは何なのか、それを考えさせられるインタビューとなりました。常にある、気が付かない部分にある当たり前に気付き疑問を持つことができるのか。自社を見直す大きなポイントを教えて頂けたと思います。「やめる」ことに対してデメリットだけではなく、メリットは何かあるのか、そこに新しい価値、方向性が見えてくるのではないかと感じました。そして、大事なものは人材であり、お客様のため社員のために、こだわりを持ちながら社員全体で企業理念共有をし、同じ方向に進んでいる前向きな姿勢が新規事業へと繋がっているのではないのでしょうか。

# 新入会員オリエンテーション



2020年10月21日皆生観光センターにて新入会員オリエンテーションが総務委員会準備のもと開催されました。45期はコロナの影響で中止、今回は併せて12名の参加となりました。先ず高塚会長より「中央会の枠を理解し本気で向かえば返ってくるのが会の特徴、明日から

の活動に活かして頂きたい」と述べられました。総務委員会から活動方針、継続事業や組織概要などの説明がありました。私はお地蔵様フェスティバルが弊社の松田OBが立ち上げた事業だと初めて知り思い入れが強くなりました。また、今担当している広報誌ハンサムは昭和61年から続いており、他の企業団体では考えられない偉大な活動の一つだと改めて実感しました。全ての説明を受けたのち理解度テストを受験しました。最後に山口直前



会長より「企業の代表として参加し足りない事や経験を勉強している事を忘れないで活動に取り組んでほしい」と締めくくられ、今回参加した新入会員は、これで中央会活動のスタートラインに立ったのだと感じました。終了後会場を移し、理解度テストの発表会や自己紹介や感想を述べる機会を頂きました。多くの方から貴重なお時間を頂き本当に有難うございました。

(記事:石井道)



## 第6回 大山お地蔵さまフェスティバル実行委員会紹介



### 実行委員会 実行委員長 安達信彦 (榊平設計 設計課長)

第6回大山お地蔵さまフェスティバル実行委員会の実行委員長を務めさせていただきます安達信彦です。当会の継続事業として、過去5回の開催を積み重ねてまいりました「大山お地蔵さまフェスティバル」。

今回は全体テーマ「無病息災を祈る」とし、このコロナ禍において大きな影響を受けた地域社会や会員企業、何より地域の子どもたちが元気になる企画を検討しています。これまで通りいかなことが多々あると思いますが、オール中央会で意見を交わし、これまでのフェスティバルの盛り上がりには負けずに、精一杯頑張ります。

そして、運営の中心となる各部部長の意気込みと各部のご紹介です。



### 広報・制作展示部 部長 藤原毅彦 (宍西尾電機商会 営業)

広報・制作展示部部長の藤原毅彦です。フェスティバルの周知を図る広報活動と第1回お地蔵さまプロジェクトから継続の「お地蔵さま作品展」の開催が主な活動となります。

チラシの配布、保育施設への作品募集等を通してより多くの方にご参加・ご来場いただけるようにPRしていきたいと思っておりますので、会員皆様のご協力をお願いいたします。



### 清掃・流しそば部 部長 坂本 剛 (エムケイ開発株式会社 食品事業部 青果部 部長)

清掃・流しそば部の坂本剛です。フェスティバルの肝となるお地蔵さま清掃と、参加者の皆さまに振る舞う大山そばが主な活動となります。多くの子どもたちに安心して参加して頂けるように、しっかりと企画を練っていききたいと思います。



### 集客・にぎわい部 部長 明穂真一 (境港海上無線株式会社 専務取締役)

集客・にぎわい部の部長をさせて頂くことになりました、明穂真一です。コロナ禍の中ですが、安心して参加して頂き、また、安心して楽しんで頂けるよう、精一杯メンバーと共に企画を練っていきたく思っております。にぎわい過ぎになること間違いありませんので、皆様ご参加の程宜しくお願い致します。



### 集客・ステージ部 部長 長谷川恵一 (HASEGAWAテクニカ株式会社)

集客・ステージ部の部長を務める長谷川恵一です。フェスティバルの中でもステージでは、子供たちのダンス披露のほか、今回はメインキャラクターの「にこっとさま」を題材とした「にこっとさまダンス」を作成し、参加者の皆さまと踊る企画を用意しています。

コロナ禍ではありますが、ディスタンスを保ちながらも、皆で同じ場所にいる・同じ時間を共有する喜びを感じられるステージイベントとなる様、部員総出で頑張ります。

当日はぜひ、一緒に「にこっとさまダンス」を踊りましょう!

# T.S.Cへの情熱 ~卒会者より~

松井 淳一(有限会社渡部 取締役副社長)



人間誰しも、あの人は言う事がしっかりしているなと思えば自然と尊敬の念を持って接することが出来ると思います。それが、よく分からない人であっても、先輩であればとりえず畏敬の念を払うのが中央会。また事業の内容や拘束時間に納得感が無くても、先輩達が議論した努力の結晶であると愚直に受け入れる。

幼い頃は自然と出来ていたそんな体育会ノリも、年齢を重ね、大きな組織で働いていたり、都心から田舎へ帰郷したばかりであったりだとなかなか素直に受け入れられない。知識だけではなく、気持ちの在り方、多方面への心配りを鍛え直してくれるのが中央会だと思います。

実際、商品の有用性を論理的に語れる優秀な営業マンよりも、愚直で真摯な姿をみせてくれる営業マンの方が信頼感を持って受け入れられると思います。大企業同士であれば、決済には多くの人間が関与するので営業の人間性よりも商品の合理性が評価されますが、意思決定を少ない人数で行う中小企業は勝手が違います。

私自身修行中の身ではありますが、在籍される皆さんは多方面への尊敬、謙虚な姿勢を中央会生活で育んでもらいたいと思います。今まで8年間どうも有難う御座いました!これからも宜しくお願い致します!

## 会長連載

### 勇気ある一步

~クールヘッド・ホットハート~

第46期 会長 高塚 康治

皆さん、改めましてこんばんは。師走に入りました。その言葉通りこの時期はとても慌ただしくなりますね。慌ただしく忙しいこと、あまり嫌いではありません。ある中央会の先輩の一言を今でも心のより所にしてがんばっています。「仕事(お役目)はできる人のところに並列でやってくる」こんな一言でした。あれもこれもそれも・・・、よし、受けてやってみようではありませんか!!私には中央会の会長以外に、車尾保育園と米工野球部の保護者会長を受けてしまいました。理由は簡単、頼まれたからです。頼まれごとは試されごと。断る勇気、ときには必要なかもしれません。でも断らなかったからこそ、見える景色があります。さあ、一步を踏み出しましょう。

## 至極の一品

大連 徳中志伸OB



11月号のハンサムで権田OBのチャーハンの記事を読みながら、ふとチャーハンに合う一品は餃子だと思い、ナンバー1の組み合わせを求め、「大連」徳中志伸OBを訪ねた。

大連は創業35年の歴史を持ち、地元で一番美味しい餃子を作ると決心され、試行錯誤の繰り返しで餃子を作り続けてこられた。餃子へのこだわりは「野菜切り、餡の製造など全て手作り」「大山豚など具材は全て国産素材を使用し、地元産の材料を出来る限り使うこと」。

美味しさの秘訣は「ミンチを良くこねること」。家庭では見ることがない大きなボウルを使用し、一回に4~5kgのミンチを形が無くなるくらい良くこねるそうだ。これが「冷たくて大変」とのこと。そして、大連を35年間支えてきたオリジナル合わせ醤油を使用し餡を製造し、3~4分程度蒸し焼きにする。

いざ、美食。目の前に焼き立ての餃子。生唾ぐくり。まずは、タレを付けずそのまま食す。野菜と肉の絶妙なバランスにパンチの効いたニンニク、爽やかな生姜の香り。口の中が幸せに!! 心が躍る!! 続けて、徳中OBおすすめの「ブラックペッパーとお酢」のタレに付けて食す。これまた、口の中で美味しさが弾ける!! 体が美味しさに包まれる!!



ナンバー1のセットメニューに欠かせない大連餃子! これこそまさに「至極の一品」

終始笑顔でご対応いただきました徳中OB、大変ありがとうございました。

(記事: 谷村)

## 現役ナンバー1「俺の筋肉」

金子 賢之(Lotus株式会社代表取締役)



「モテたい」「変わりたい」「ストレス」「孤独」「趣味がない」「メンタル」「自信がない」「成功したい」「ひま」「フラれた」など困った事は全て筋トレで解決! 筋トレこそ最高の自己投資。だからみんな筋トレをしよう!

Q.筋トレを始めたきっかけは何ですか?

A. 学生時代部活をやっていて体力にも自信があったのだが年々衰えてゆく体を見て悲しくなっただけ。

Q.部活は何をされていたか?

A. 柔道だよ。中学高校とずっと中国大会はチャンピオンで全国大会では……

Q.そこまでは聞いてないんですが(笑)

A. ははは。厳しいね。

Q. ベンチプレスのMAXはどれくらいですか?

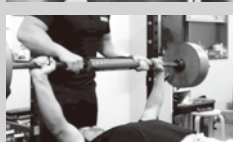
A. 125kg。やっと大学時代の記録に追いついたよ。

Q. 今後はどういうビジョンをお持ちですか?

A. 痩せたいよね。

Q. ありがとうございます。

A. ありがとうございます。



## 12月役員会報告

令和2年12月1日(火) 米子市公会堂 集会室6・7にて12月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- 11月例会報告の件
- 鳥取県中小企業青年中央会の件
- 12月例会開催の審議
- トライアスロン実行委員長についての上程書
- 新年例会開催の協議

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

## 編集後記

本年も、もう12月。この時期になると年月の早さを痛感します。本年は新型コロナウイルスに振り回された一年でした。相場の格言で「子繁栄、丑つまずき」とあります。丑年の相場は俗に一段落すると言われます。新型コロナウイルスも来年は一段落することを願っております。(ビジネスメディア委員会 谷村)